

ランチョンマットの商品化支援

村上アドバイザーによる支援

鳥取県産業振興機構の訪問に同行して、新商品試作を見せていただいたことから支援が始まった

知的財産権に関するスキルアップのサポート

- ▶ 知的財産権の重要性、特許と実用新案の制度の相違等説明

特許権取得に向けたサポート

- ▶ 先行技術文献の検索手法習得の支援
- ▶ 自身による先行技術の分析・出願などの支援
- ▶ 特許庁が実施している無料の先行技術調査の申請等支援

株式会社サカモト

何気ない商品試作にも知的財産が関係していることを発見！

他人が何を発明したか、それを知ることによって自身の開発品のどこが発明と認識できるか見極めたい！

- ◆ 特許情報の調査・活用
- ◆ 権利取得の方法を体得したい

特許情報活用による成果

無料先行技術調査を利用して特許出願

- 特願2009-106517 他1件

自身による明細書作成を通じて、実施例のバリエーションについて強い関心を持ち、商品展開した

智頭杉の匠

厚さ4mmの智頭杉柾目のランチョンマットが、豊富なカラーバリエーションで登場。



この支援によって開発・販売された商品

商品名 ランチョンマット

厚さ4ミリという薄い智頭杉の柾目板に塗料や漆でコーティングした、飲食に無害安全で汚れが落ちやすい飲食用敷物です。

支援先企業の概要

- 会社名 株式会社サカモト
- 代表取締役 坂本 トヨ子
- 住所 鳥取県八頭郡智頭町
- 設立 1957年
- 資本金 1,000万円
- ホームページ <http://www.woodymind.com/>

村上 耕一(鳥取県知的所有権センター)特許情報活用支援アドバイザーの一言

株式会社サカモトはいわゆる百年杉と呼ばれる智頭町特産の杉を製材、加工する会社で、杉材を活用した応用商品開発にも力を入れているユニークな会社です。

杉板の縦型ブラインドがあるということで県産業振興機構の訪問に同行した時、反らないカラフルなランチョンマットが試作されたばかりでした。なぜ薄い板なのに反らないのか、どうして杉材が食卓に載るのか、色々と伺っているうちに長い経験と高度な技術を感じ、是非権利に裏打ちされた「儲かる商品」を作っていたきたいと願うようになり、支援が始まりました。知的財産権制度の概要を理解いただくことから始まり、特許出願に向けた支援をメインに行いました。



平成21年9月現在